

スタートカリキュラムは、『子どもにとっての安心プログラム』と言えます。それに加え、全校体制でスタートカリキュラムに臨むことで、『保護者も安心』『先生も安心』のプログラムになります。

3つの視点で、1年間を見通した「つけない力・習慣」を明確にしています。

【資料1 身に付けさせたい力・習慣】

3つの視点

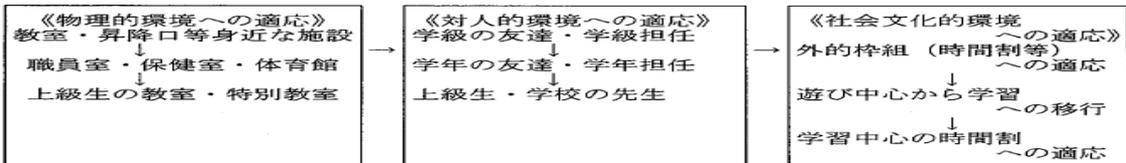
1年生でつけない力

	4月～5月	6月～7月	8月～12月	1月～3月
基本的生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちの良い挨拶をする ・学校のきまりが分かる ・決まった場所に片付けることができる ・生活時間に合わせて行動できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで挨拶ができる ・学校のきまりにしたがって行動する ・持ち物を大切に ・当番や係の仕事内容が分かる 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のことは自分でする ・忘れ物をしない ・当番や係など自分の役割を果たす ・時と場に応じた言葉遣いをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しを持って生活する ・よいと思うことは進んで行う
人のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・先生や友達に親しみを持って、かわろうとする ・友達や先生に自分の思いを伝えることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級の一員であることを自覚する ・いろいろな友達と活動ができる ・友達の良いところを見つける ・地域のいろいろな人と交流することを楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分とは違う考えも受け入れられる ・相手のことを考えながら行動する ・目標に向かって、友達と協力して活動をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい方法を話し合うことにより、トラブルを解決したり活動を進めたりすることができる
学習にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・良い姿勢を保持できる ・話している人を見て話を聞く ・自分の考えや思いを友達や先生の前で話す ・失敗を恐れない 	<ul style="list-style-type: none"> ・最後まで黙って話を聞く ・声の大きさや速さに気をつけながら話す ・時間を守り、学習準備をする ・宿題を忘れない ・新しいことに取り組もうとする 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の考えに反応しながら聞く ・話し方に気をつけて、理由などもつけ加えて話す ・宿題を丁寧に ・難しいことにも挑戦しようとする 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えと比べながら聞く ・大事なことを落とさないように興味をもって聞く ・順序よく話す ・難しいことでもやり遂げようとする

【資料2 指導内容・指導方法・指導時期の整理】 1 子どもが感じる違いを知る

○実施時期：入学後から連休明けまでの約1か月間程度

○新教育環境適応過程



○指導内容と定着させるまでの時期

	身に付けさせたい力や習慣	1週目	2週目	3週目	4週目
1	45分間座っていることができる。	●	-----	-----	●
2	話を聞くことができる。	●	-----	●	
3	あいさつができる。	●	●		
4	トイレを使うことができる。	●	●		
5	出席順、背の順で並ぶことができる。	●	●		
6	給食の準備と片付けをすることができる。	●	-----	-----	●
7	学習の準備をすることができる。		●	-----	●
8	友達と仲良くできる。		●	-----	●
9	遊具を使って安全に遊ぶことができる。		●	-----	●

ポイント

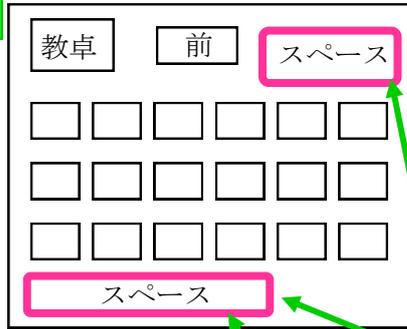
スタートカリキュラムは、幼児の実態を踏まえて、まず「1年生でつけない力」（資料1）や、入学当初に何をねらい、それをいつ・どのように身に付けさせるのか（資料2・3）を明確にすることが大切です。また、それを受けて、月・週プラン（資料4）を考えていくことが重要です。

スタートカリキュラムの実際例

【教室（学習）環境の工夫】

ポイント

- ①安心できる空間づくり
- ②たっぷりゆったりとした時間
- ③わかりやすい表示
- ④指導体制づくり
(学年指導体制・補助教諭・学校支援ボランティア等)



＜朝の時間を利用して＞

幼児期では、自ら動きやすくなるような環境の中で子どもたちを育てています。子どもたちの発達段階や幼稚園・保育所（園）での生活からの接続を考え、環境を整えていきましょう。



＜居場所づくり＞



＜図書館司書による本の読み聞かせ＞

スムーズな朝のスタートに向けて



できているかな？

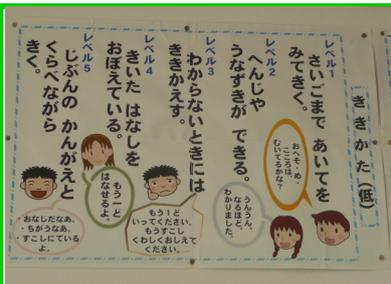
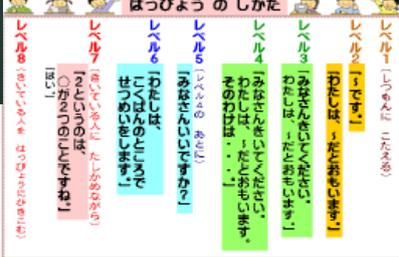
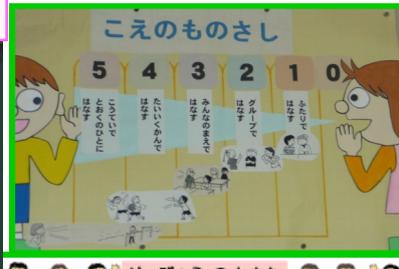
これができている人は、きっと学習に集中できます。さっそくチェックしてみよう！

- 1 学校にきたらすぐ、ランドセルや連絡帳など決められたところにおいている。
- 2 机の中がせいとんされている。
- 3 筆箱の中身がそろっている。(鉛筆、赤ペン、消しゴム、定規など)
- 4 学習前には、教科書・ノートがきちんと机の上にある。

落ち着いた生活・学習に向けて



することを視覚的に提示することで、見通しをもって安心して行動することができます。これは、幼児期でもされており、子どもたちが育ってきた環境を知っておくことが大切です。



【聞き方・話し方・机の上(4年・1年)】

ポイント

児童が安心して小学校生活に移行できるように教室環境を工夫することが大切です。また、児童が進んで活動するために、一日の生活に見通しをもたせたり、学習規律を具体的に分かりやすく伝えたりすることが必要です。

友達同士の間人関係をつくる活動や声かけを意識的に取り入れましょう。教師の肯定的な声かけで、自信をもって生活できるようになります。

【生活科を核にした合科的な指導の単元構想例】

スタートカリキュラムは幼児教育からの連続性に配慮し、遊びの要素を含んだ生活科を中心とした合科的・関連的な指導を行えるようにすることが大切です。生活科と各教科の指導内容の相互の関連を考え、合科的・関連的な指導に配慮し、授業時数を配当しておくことが必要です。

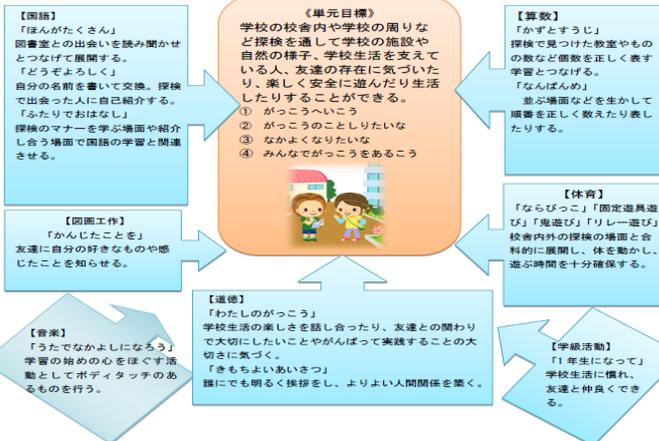
1年生入学時 生活科を中心とした合科的な指導の例

保育所での活動は、教科ごとの45分の授業構成で区切られていません。入学時には幼児教育と小学校教育の橋渡しとして生活科を中心とした合科的な学習を組み、保育所で育った児童のよきを引き出し、自信を持って学校生活のスタートができるように配慮することも大事です。ここではその例を載せておきます。児童の実態に応じてご利用ください。



単元名【どきどき わくわく1ねんせい がっこうだいすき】(4~5月全19時間 生活科10時間)

- ◇学校探検を中心として、国語・図画工作などの内容を合科的・関連的に扱い、大単元を構成してゆったりとした時間の中で進めていき、徐々に各教科に分化していくようにする。
- ◇幼児教育で培った初めての環境で活動してみたいというわくわくする思いを大切に、発見や気づきを知的な気づきにつなげ思いや願いの実現に向けた活動へ進めていく。



小学校生活に慣れていない児童の実態に配慮し、1単位時間1教科の学習だけではなく、生活科を核とした合科的な指導「学校たんけん」を行いましょう。身近な学校施設や学校生活のルール・マナーを知るなど子どもたちにとって小学校生活への円滑な導入につながる学習展開になります。

第1学年スタートカリキュラム

項目	時数	4月	5月
適応学習	15分×4回	学校生活のルールを知り、安心・安定した生活を送ることができるようにする。 1. 探検 2. 学校の約束 3 交通安全に気をつけよう 4. 生活リズム ※例として、朝学習で実施可能	
適応学習	15分×12回	友だちとの良好な関係を築き、安心・安定した気持ちで生活を送ることができるようにする。 1. あいさつと自己紹介 2. 遊び(年長の時のもの)5回 3. 2年生と校歌を歌う 4. お話を聞く2回 5. 歌を歌う3回 ※例として、朝学習や中間休息で実施可能	
合計	39 1/2 時	計 32 1/2 時間(生活10、国語4、音楽3、図工6、体育4、道徳2、学活1、特(行)2 1/2) ※特(行)は特別活動の学校行事	
生活	15時	友だち大好き 学校大好き ねらい…学校を回り、学校の施設や様子、学校生活でお世話になっている人が分かるとともに、きまりやマナーを守って楽しく安全に遊んだり生活したりし、友だちや先生、学校の人々などとの関係を築けることができる。	
国語	5時	生：学校めぐり 1h 学校めぐりをし、気づいたことを発表する。	
音楽	3時	生：学校探検しよう 5h 学校探検をし、学校でお世話になっている人の話を聞いたり、調べたりすることで、学校内の施設やきまりを知る。また、学校で見つけたことを友達に伝える。	
体育	4時	生：どうぞよろしく 4h 友だちや先生に見てもらおうカードに絵や文字を書き、そのカードにサインを書いてもらう。また、先生のすきなものを絵にかく。	
図工	7時	国：ほんがたくさん 1h 図書室で絵本に出会う。絵本を楽しく読む。友だちと絵本を紹介し合う。	
道徳	2時	特(行)：はじめての遊園地 1/2h 元気な体(身体測定) 2h 音：うたでなかなよしになろう 3h (音楽室で歌を歌う)	
学活	1時	国：みんなでかざろう 2h (図工室で紙を切る) すなやつとかなよし 2h (砂場で様々な形を作る)	
特(行)	2 1/4 時	体：ゆうくあそび 2h おにあそび 2h (体操の筆覚え方、道具の使い方) 道：たのしいがっこう 1h あかるいあいさつ 1h	
特(行)	2 1/4 時	学：いろいろなともだち(特別支援学校の友だち) 1h 特別支援学校に行ってみよう。 国：みんなにつたえよう 1h みんなの前で先生について調べたことを話す。	
特(行)	2 1/4 時	生：はるをさがそう(わたしがっこう どんなどころ) 2h 校庭にある春を探す。	
特(行)	2 1/4 時	国：はるをえにこ(おひさまにこ) 1h 校庭で見つけたものを絵にかく。	
特(行)	2 1/4 時	国：はるをしようかいしよう(みんなにつたえよう) 1h 見つけたものや絵を紹介する。	
特(行)	2 1/4 時	学：はるをしようかいしよう(みんなにつたえよう) 1h 学校で見つけた花を伝え合い、花の土作りや種まきをする。	

生活科の学習活動のなかに、他の各教科の要素を含ませた学習活動を行うことで、学習に必然性や意味をもたせることができます。